



結小だより

★自分で学ぶ子
★仲よく助け合う子
★自分でできたえる子



「一緒にやろう」「教えて」と言える日常

校長 中野 由美

今年度の登校日数が40日をきりました。学校では、3月4日（水）に行われる「6年生を送る会」に向けて、子どもたちが動き出しています。縦割り班ごとに写真を撮ってメッセージを書いたり、学年ごとの発表内容を考えて練習したり、委員会で最後のキャンペーンに取り組んだり……。6年生に感謝の気持ちを伝え、全校が大切にしてきた財産を確かめたい、という児童の気持ちが伝わる姿です。

その姿は、行事とは関係のない学校の日常にもたくさんあります。例えば、



朝の玄関で生活委員以外に、自主的にあいさつ活動をする児童がいます。夏休み前に、生活委員会のキャンペーンが終わってからも玄関に立ち続けていた2年生が再び活動を始めたり、2年生の姿を見て自分もやろうと決めて取り組んだりしています。彼らに話を聞くと、

- ・【進んであいさつ】は結小学校の伝統だから、6年生が卒業する前に引き継ぎたい。
- ・6年生に安心してもらえるように姿で示したい。
- ・生活委員会だけが頑張るのではなく、一人一人が頑張る結小学校にしたい。
- ・理由はないけれど、あいさつをすると気持ちがいい。

と教えてくれました。また、別の場面では、昼休みに自主的にブラスバンドの練習をする4年生の姿がありました。6年生の教室まで行って、「教えて」と声をかけている子もいました。遊びたかった6年生もいたでしょうが、「いいよ」と言って笑顔で一緒に練習場所に向かっていました。「来年は自分たちの出番だ」という4年生の思いと、「財産を丁寧に手渡していきたい」という6年生の思いが交わったように感じました。

これら2つの場面以外にも、学校の伝統を引き継ぎ高めたいという思いが姿となって表れていることが増えています。そして、それらの取組が児童にとっての「普通」になってきていることをとてもうれしく感じています。これまでの6年生の姿があったからこそです。



結ぶ手と手が輪になって ～結小学校の輝き～

表彰

■令和7年度安八町競書会

【推奨】

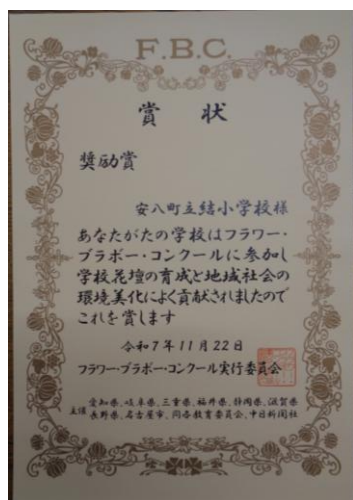
1年	さん
	さん
2年	さん
3年	さん
4年	さん
5年	さん
	さん
6年	さん

【入選】

2年	さん	5年	さん
	さん		さん
	さん	6年	さん
3年	さん		さん
	さん		さん
4年	さん		
	さん		
	さん		



■FBC 奨励賞 結小学校



FBC（フラワー・ブラボー・コンクール）は、学校での花壇作りを通して自然を愛する心を育てるため、昭和39年に中日新聞社と岐阜県が主となって始めた学校花壇のコンクールです。現在は、愛知・岐阜・三重・福井・静岡・滋賀・長野の各県と名古屋市の小・中・特支学校が参加しています。

種をまき、デザインに合わせて植え込み、水や肥料を与え、草を抜き・・・花を育てることは大変でしたが、助言をくださる保護者や地域の皆様に支えていただき、奨励賞をいただけて児童の努力が報われたように思います。ありがとうございました。